

●世界の主な地震

平成 26 年（2014 年）7 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

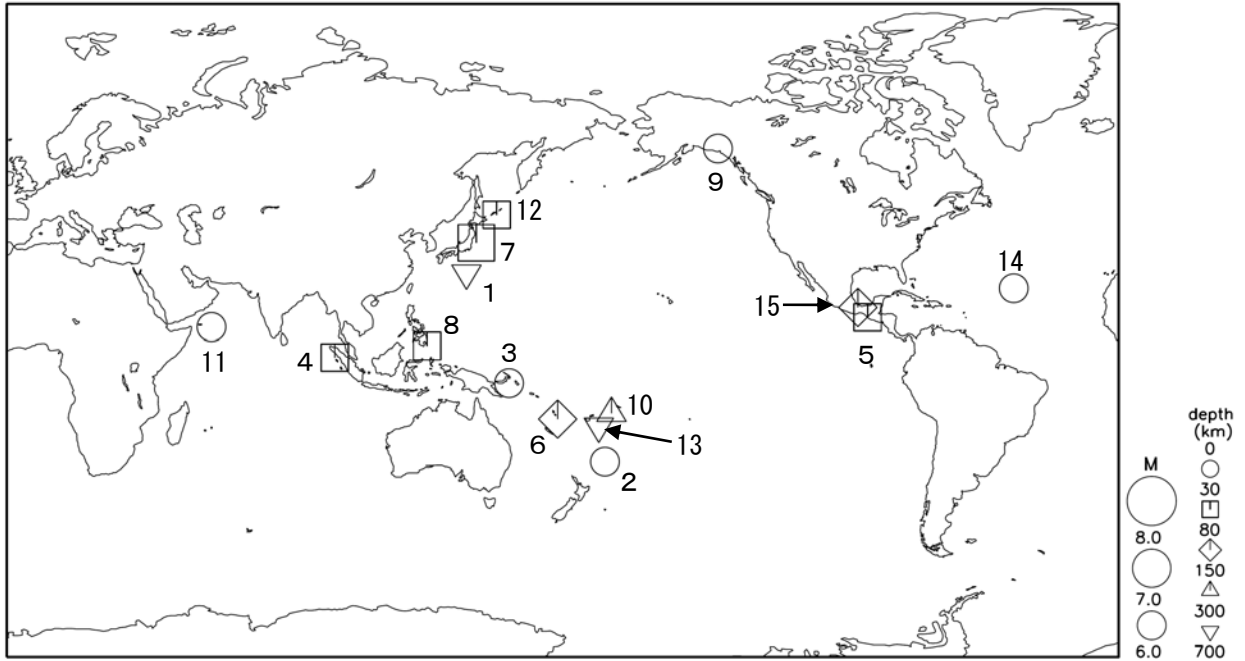


図 1 平成 26 年（2014 年）7 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

- * : 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2014 年 8 月 1 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素は気象庁による。
- ** : 数字は、表 1 の番号に対応する。
- *** : マグニチュードは表 1 の mb (実体波マグニチュード)、Ms (表面波マグニチュード)、Mw (モーメントマグニチュード) のいずれか大きい値を用いて表示している。

表1 平成26年(2014年)7月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	07月01日04時55分	N28° 18.9′	E139° 10.6′	539		(6.2)	(6.2)	小笠原諸島西方沖			
2	07月04日04時50分	S30° 31.9′	W176° 31.5′	20			6.3	ケルマデック諸島			
3	07月05日00時00分	S 6° 12.2′	E152° 49.2′	10			6.6	パプアニューギニア、ニューブリテン			
4	07月05日18時39分	N 1° 59.6′	E97° 00.9′	30			6.0	インドネシア、スマトラ北部			
5	07月07日20時23分	N14° 44.5′	W92° 24.5′	60			6.9	メキシコ、チアパス州沿岸	メキシコとグアテマラで合わせて死者6人		○
6	07月08日21時56分	S17° 37.0′	E168° 21.5′	114			6.3	バヌアツ諸島			
7	07月12日04時22分	N37° 03.0′	E142° 19.2′	33		(7.0)	(6.5)	福島県沖	負傷者1人 宮城県の大崎市鮎川で17cm、福島県の相馬で15cmなどの津波を観測		○
8	07月14日17時00分	N 5° 40.8′	E126° 34.1′	45			6.3	フィリピン諸島、ミンダナオ			
9	07月17日20時49分	N60° 20.9′	W140° 19.9′	10	6.0			米国、アラスカ州南東部			
10	07月19日21時27分	S15° 47.9′	W174° 24.2′	220			6.0	トンガ諸島			
11	07月19日23時14分	N11° 45.0′	E57° 33.7′	10			6.0	オーエン断裂帯			
12	07月21日03時32分	N44° 36.1′	E148° 50.8′	30		(6.4)	(6.3)	択捉島南東沖			
13	07月21日23時54分	S19° 49.7′	W178° 27.8′	616			6.9	フィジー諸島			
14	07月27日10時28分	N23° 45.6′	W45° 38.7′	10			6.0	大西洋中央海嶺北部			
15	07月29日19時46分	N17° 50.5′	W95° 31.4′	95			6.3	メキシコ、オアハカ州			

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による(2014年8月1日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Msの欄に括弧を付して記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間[日本時間=協定世界時+9時間]である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報(NWPTA)(地震・火山月報(防災編)2005年5月号参照)を発表したことを表す。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

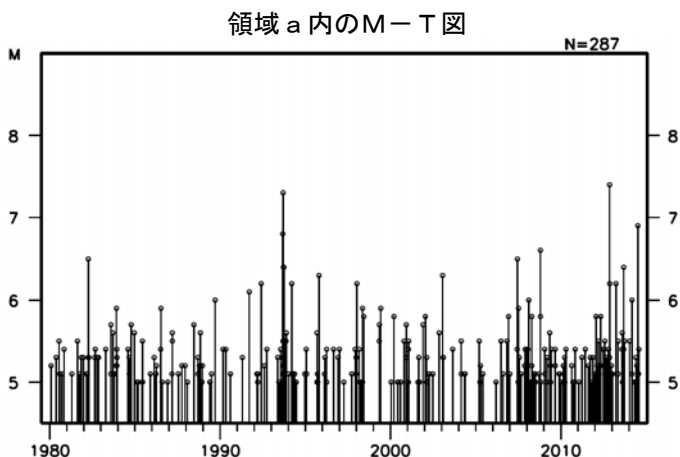
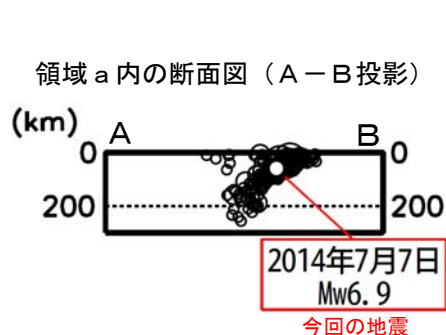
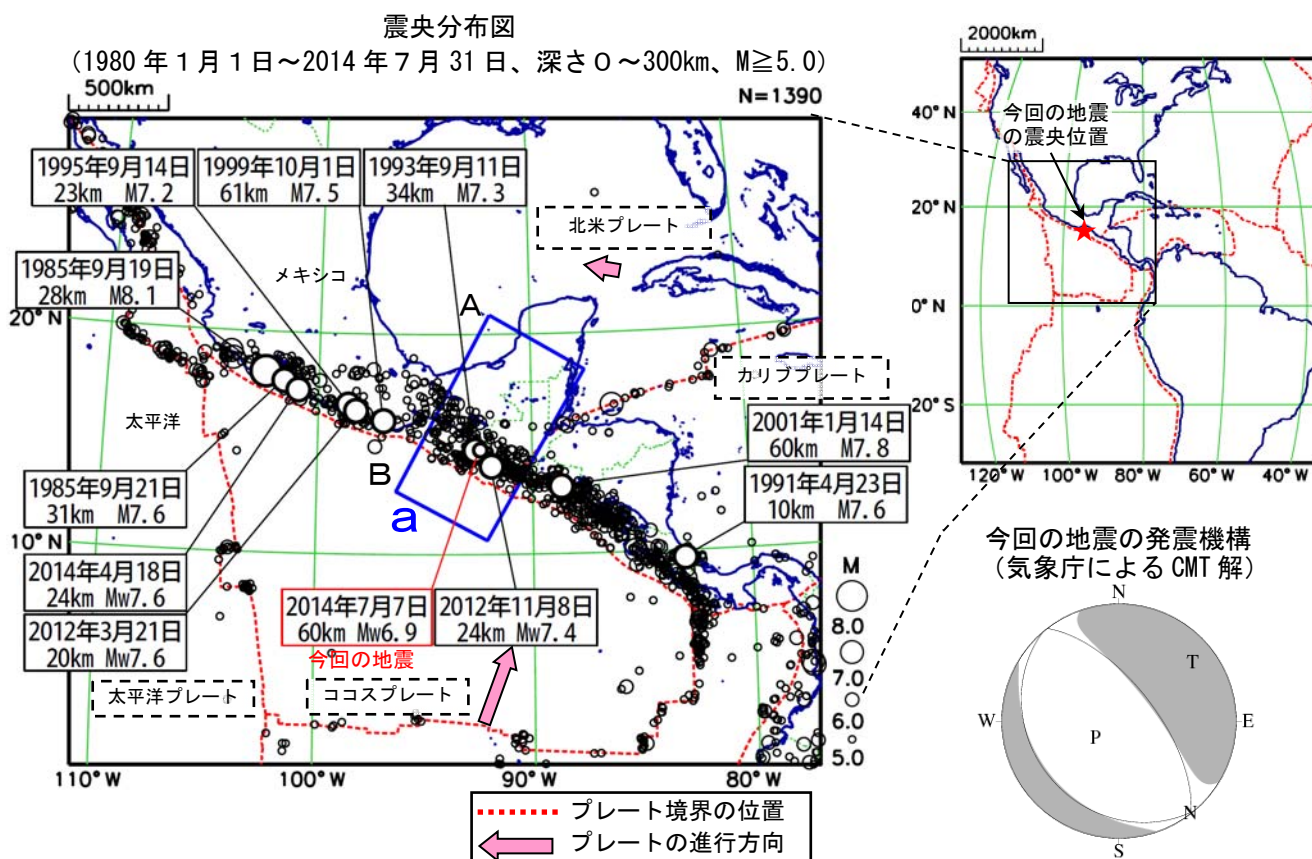
7月7日 メキシコ、チアパス州沿岸の地震

2014年7月7日20時23分（日本時間、以下同じ）に、メキシコのチアパス州の深さ60kmでMw6.9の地震が発生した。この地震は、発震機構（気象庁によるCMT解）が北東-南西方向に張力軸を持つ正断層型で、沈み込むココスプレートの内部で発生した。

気象庁は、この地震について同日20時52分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「震源の近傍で津波発生可能性があります。この地震による日本への津波の影響はありません。」）を発表した。

今回の地震により、メキシコで死者4人、グアテマラで死者2人の被害を生じた。

1980年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M7.0を超える地震が2回発生している。2012年11月8日には、Mw7.4の地震が発生し、死者48人以上、行方不明者100人、負傷者155人などの被害を生じた。



※本資料中、今回の地震の発震機構とMw、2012年3月21日、11月8日の地震及び2014年4月18日の地震のMwは気象庁による。その他の地震の震源要素及び被害は米国地質調査所（USGS）による。被害は、メキシコ・チアパス州政府（2014年7月8日現在）及びグアテマラ大統領府による（2014年7月7日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.